

「景観開花。2014」募集要項

1. 企画要旨

高度経済成長期の日本では、早急な社会基盤整備が求められ、場所性を無視した画一的な土木構造物が多数生み出された。しかし、インフラ施設がある程度拡充した現代においては、「量」から「質」への価値転換が行われ、風景への調和や、その場所が持つ意味・役割に合わせた土木デザインを求める機運が高まりつつある。そのため「景観開花。」では、土木デザインに関心のある若者がその力を試せる場所を提供するとともに、多くの人々へ向けて土木デザインの可能性を示すという趣旨のもと、様々な土木構造物を設計テーマに据えて設計競技を実施してきた。

特に、近年の「景観開花。」では、『まち』に意識を向けたテーマ設定を行ってきた。『まち』は私たちの生活の基盤であり、かけがえのない日常生活の舞台である。したがって、人口減少や高齢化、震災からの復興など多くの問題が山積している今、様々な観点から『まち』と向き合い、これからの『まち』のあり方について考える必要があると思われる。

そこで、今年度からはこの考えを発展させ、テーマ設定の方針を一新する。過去の「景観開花。」では、土木構造物のカテゴリーが指定され、その中で『まち』をより良くするための提案が求められてきた。しかし、『まち』の問題が多様化し、新たな『まち』のあり方が模索される現代において、土木デザインは、より自由な発想で『まち』への提案が行えるのではないだろうか。よって今年度の「景観開花。」からは、『まち』についてのある「理想」をテーマとして設定する。応募者には、その「理想」について各自の思いを巡らせ、「理想」の実現に向けた土木デザインを提案して欲しい。

最後に、「景観開花。」を通して東北の地から発信されたアイデアが、これからのより良い生活、そして復興への一助となることを切に願っている。

2. 設計競技

2.1. 設計テーマ

「集う」

2.2. 設計条件

- ・ 人々が集い、『まち』に活気が創出されるようなデザインを提案すること

- ・ 土木構造物、土木施設、若しくはそれらの機能を有する物の建設又は再整備を中心とした提案とすること
 - － 建築物を設置する場合は、上記の条件を満たしていること
 - － 実在する場所を対象地とすること
 - － 地質調査や構造計算の必要はないが、構造の現実性は確保すること

2.3. 対象者

- ・ 2014年4月1日現在、大学・大学院・短期大学・高等専門学校・専門学校・高等学校に籍をおく学生、及び経験年数5年以下の社会人。グループでの応募も可。
- ・ 仙台で行われる公開最終審査会に参加できること。

2.4. 提出物

以下の3点を作品提出条件とし、締切日までに全てをまとめて提出すること。

1) 設計図面

提案の意図を表現する図面（縮尺自由）および説明文。A1 サイズ（594mm×839mm、縦横は問わない）のケント紙またはそれに類する厚紙1枚に収めること。

2) 設計模型

提案する『まち』が理解できる模型。縮尺は自由だが、模型サイズは $1\times 1\times 1\text{ m}^3$ 以内に収めること。

3) CD

図面データをPDFファイルに変換し、CD-Rにデータを移したものの。ファイル名は代表者名とすること。

2.5. その他

- ・ 応募作品は未発表作品に限る。
- ・ 応募は1エントリーにつき1作品に限る。
- ・ 1人につき1エントリーに限る。
- ・ 原則、提出物の返却は、指定の期間までに東北大学工学部建築・社会環境工学科まで直接引き取りに来られる場合のみ受け付ける。
- ・ 応募作品の著作権は、応募者に帰属する。
- ・ 主催者および実行委員会は、本設計競技の趣旨の範囲内で著作権者名を明示した上で、懇親会報告書、記者発表資料、作品集、Web等を通じて、応募作品および提案されたアイデア、情報等を公表できるものとする。
- ・ 課題に対する質疑応答は受け付けない。規定外の問題は応募者の自由決定とする。

3. 審査

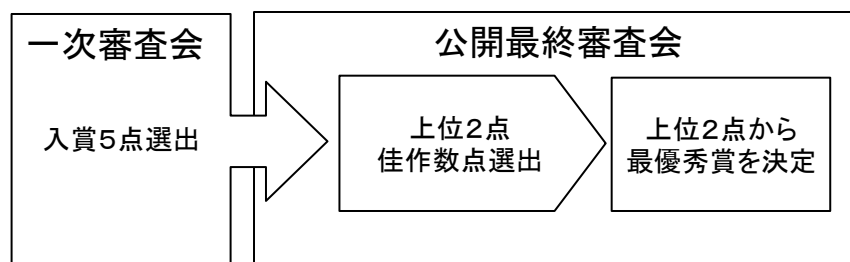
3.1. 審査委員

審査委員長 篠原 修
審査委員 五十嵐 太郎
木下 斉
西村 浩
若林 幹夫

(敬称略／五十音順)

3.2. 審査方法

一次審査会を行い、審査委員は入賞作品（5点前後）を決定する。後日、公開最終審査会を開催し、入賞者のプレゼンテーションとそれに対する質疑応答の内容から、審査委員は上位2点と佳作数点を選出する。その後、上位2点の制作者は最終ディスカッションに進出し、相互に質疑応答を行う。この際、質疑には佳作受賞者の参加も可能とする。審査委員は以上を踏まえ、上位2点から最優秀賞と優秀賞を決定し、講評を行う。



3.3. 賞金

最優秀賞（1点）：	20万円
優秀賞（1点）：	10万円
佳作（数点）：	4万円
特別協賛企業賞（数点）：	2万円
参加賞（全作品）：	審査委員からのコメント

4.日程

- ・ エントリー受付開始 平成 26 年 7 月 7 日
- ・ エントリー締め切り 平成 26 年 10 月 10 日
- ・ 作品提出締め切り 平成 26 年 10 月 31 日
- ・ 一次審査会 平成 26 年 11 月 17 日
- ・ 公開最終審査会 平成 26 年 12 月 13 日

5.会場

- 一次審査会： 東北大学 青葉山キャンパス
公開最終審査会： 東北大学 青葉山キャンパス

6.提出先

10 月上旬に Web ページ (keikankaika.jp) 上にて発表する。